

SSTG1 体験版

操作早分かり表



もくじ

本製品をご利用いただくにあたって	4
基本操作	5
1. サンプルプロジェクトファイルを開く	5
2. 新規プロジェクトファイルの作成	6
3. タイムコードの調整	8
4. 画面調整	9
5. 台本のインポート	10
6. 音声波形の調整	11
7. 映像の再生	12
8. スポットティングの取り方	13
9. スポットティングの微調整	14
10. 字幕の入力	15
11. 原文の貼り付け	16
応用・便利機能	17
12. 次の字幕へ / 前の字幕へ	17
13. 文字のエフェクト	17
14. 現字幕の削除	17
15. 複数の字幕削除	17
16. 字幕番号の振り直し	17
17. 1つの字幕番号だけを振り直す場合	17
18. 字幕の分割・結合	17
19. トラック間の字幕コピー / 属性を含めてコピー	18
20. UNDO・REDO 機能	18
21. コメント機能	18
22. 検索・置換	18
23. 全画面表示	18
24. ガイドライン	18

SSTG1 体験版 基本画面説明



※体験版で利用可能機能 ※製品版搭載機能（一部有償オプション）

1	文字ベースのフォーマット設定	字幕フォントの種類・サイズ・色、カーニング・レディング、斜体、傍点、ルビ、エッジ等の設定 CANVASsUD丸ゴシックDVD 68 K I P R 丸型 5 エッジの色 フォントの種類 フォントサイズ フォント色 カーニング・レディング イタリック 傍点 ルビ エッジの種類 エッジの幅
2	字幕ベースのフォーマット設定	表示位置（縦・横・自由位置）、組文字、マスク、フェードイン・フェードアウト等の設定 組文字 自由位置設定 表示位置 マスク 自由位置 フェードイン・フェードアウト 全画面表示 エフェクト解除のみ解除
3	ビデオウィンドウ	作業用映像上で、字幕の表示を確認
4	ビデオ操作	a ビデオ再生・コマ送り・コマ戻し b 現在位置のタイムコード
5	字幕操作	a 字幕選択（前・後）・現字幕再生 b インタイム c アウトタイム d デュレーション（字幕表示時間）
6	音声波形ウィンドウ	音声波形をマウスでドラッグすることにより、スポッティングが完了する
7	テキストウィンドウ	a 原文ウィンドウ ハコ割りの原文を表示 b 字幕ウィンドウ 字幕を「W o r d」感覚で入力可 c 入力文字数 現在入力されている字幕の文字数を、1行ごとに表示 d 文字数インジケータ その字幕の表示時間から、最適な文字数を自動計算
8	台本ウィンドウ	テキストファイル形式の台本をインポート
9	音声波形操作ボタン	編集ロック機能 音声波形の編集機能をロックできます センターリング機能 現字幕を音声波形中央に移動 横スケール変更機能 音声波形の横幅を左右に拡大・縮小 縦スケール変更機能 音声波形の縦幅を上下に拡大・縮小
10	インデックス番号	字幕番号とは別に、1から連続した整数のインデックス番号を表示
11	UNDO・REDO機能	12 映像表示倍率変更 13 座標表示
14	コメントウィンドウ	申し送りや覚え書きなどを入力します
15	インフォメーションウィンドウ	警告マーク 赤 トータル字幕文字数が設定した最高値を超えると表示されます 警告マーク 黄 1行の字幕文字数が設定値を超えると表示されます コメントお知らせ コメントが入力されているときに表示されます ※体験版では文字数の設定は変更できません。

本製品をご利用いただくにあたって

SSTG1 体験版は SSTG1 シリーズ製品の使用感を体験していただくための体験版ツールです。

画面のレイアウトやインターフェイス、操作性をご確認いただくものになりますので、データの保存は一切できません。

作成した字幕データの保存を含め、実作業でご利用される場合には、正規版の SSTG1 シリーズをご購入下さい。


<制限事項>

- 作成したデータを保存することはできません。
- 作成したデータを他のファイル形式にエクスポートすることはできません。
- 既存の sdb ファイル（製品版 SSTG1 シリーズで作成したプロジェクトファイル）を開くことはできません。
- 波形データやフォーマットなどは一切保存されません。映像を開くたびに波形データを生成します。
- サンプル以外の映像ファイルを開くことは可能ですが、再生できるのは **冒頭の 3 分** までとなります。
- 字幕移動や高度な検索、チェック機能など、製品版の基本編集機能の一部がご利用できません。
- 高等編集機能、インポート/エクスポートオプションなど、製品版有償オプション機能は利用できません。
- **本ツールは体験版につき、弊社は一切の保守・サポートを行いません。**
- **本ツールをインストール後 1 年以内に SSTG1 シリーズを購入しなかった場合は速やかに本ツールをアンインストールし、使用を中止してください。**

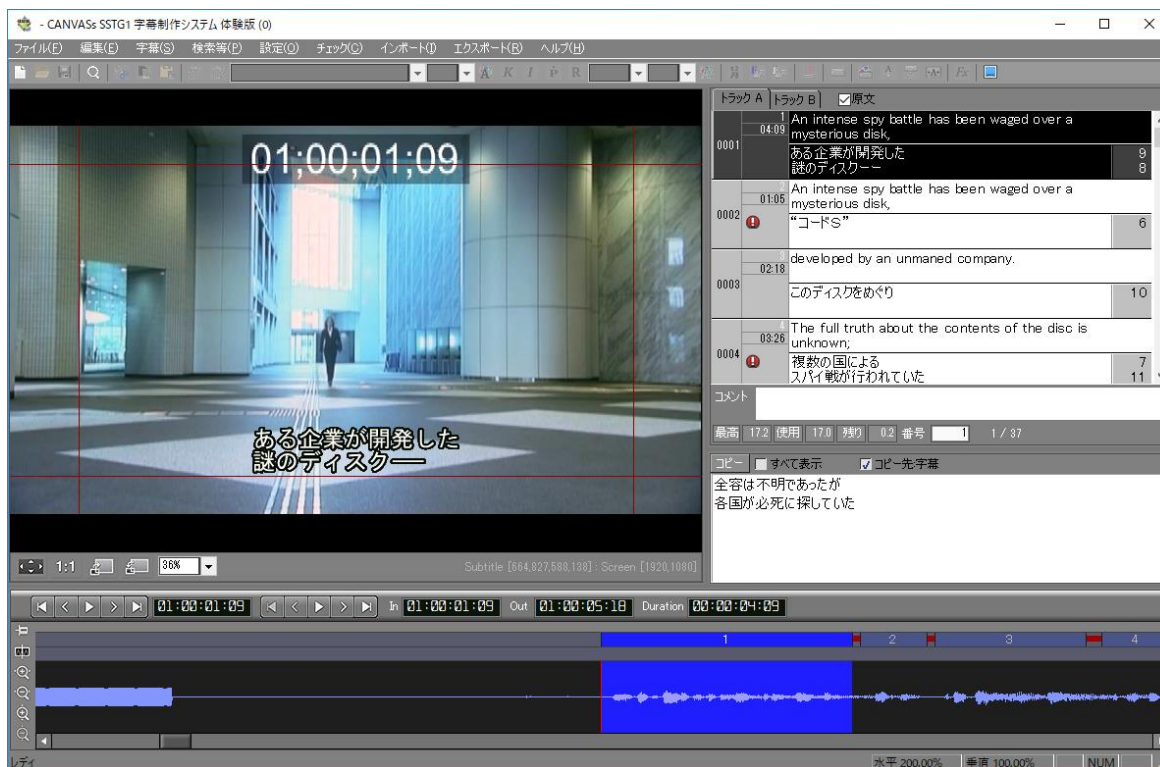
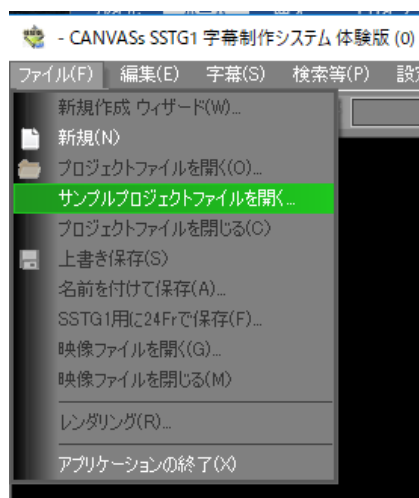
基本操作

1. サンプルプロジェクトファイルを開く

すでに制作された字幕を映像とともに体験できます。

アイコン  をダブルクリックし、SSTG1 体験版を起動します。


[ファイル]→[サンプルプロジェクトファイルを開く]でサンプルプロジェクトファイルとサンプル映像ファイルが開きます。



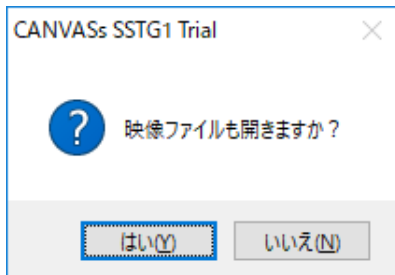
サンプルファイルに修正を加えることも可能です。（保存はできません）

2. 新規プロジェクトファイルの作成

新規ファイル作成、映像ファイルを開くなど、基本的な操作を一通り体験することができます。（保存はできません）

アイコン  をダブルクリックし、SSTG1 体験版を起動し、[ファイル]→[新規]を選択します。

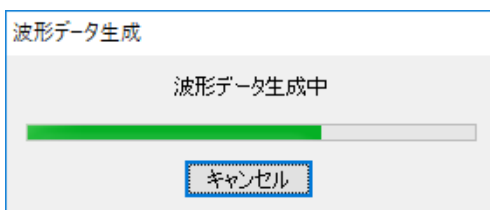
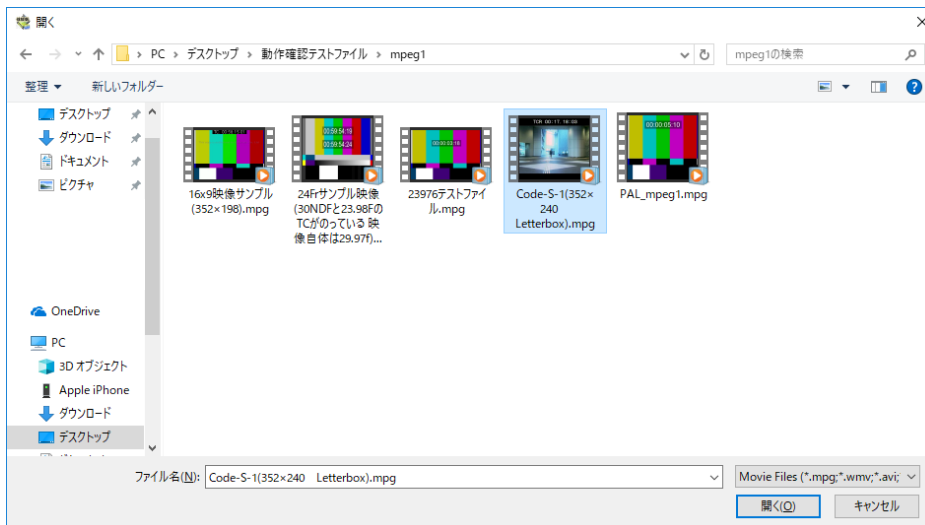
「映像ファイルも開きますか？」とメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。



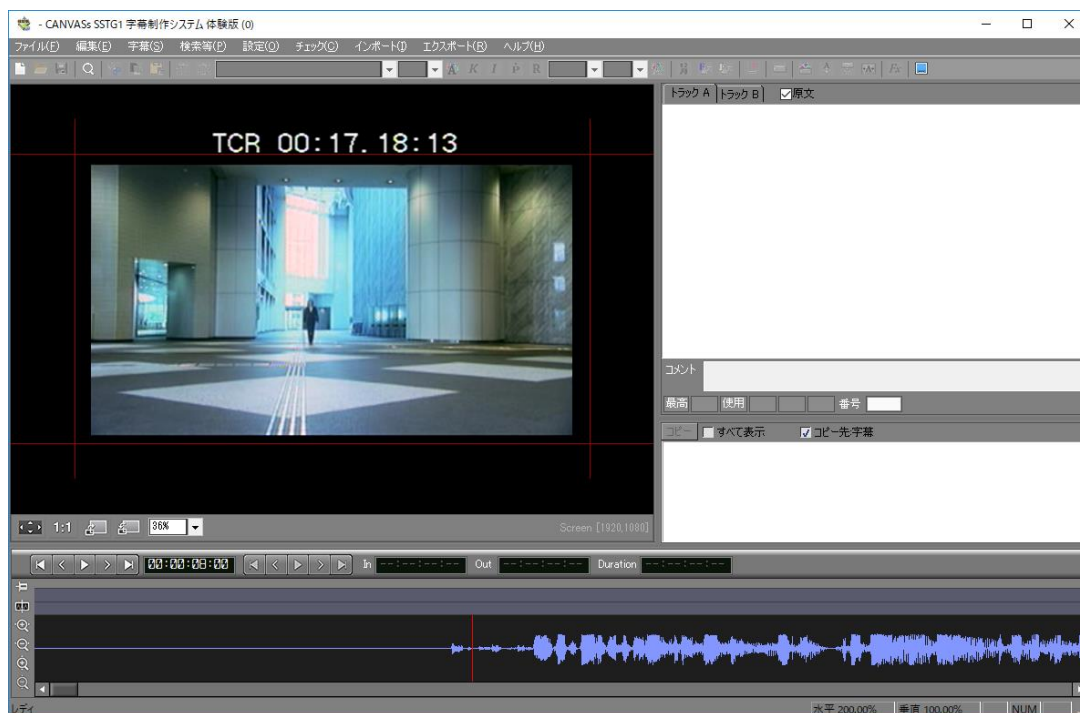
⚠ 開ける映像は mpeg1、WMV、MP4(h.264,AAC)、MOV(h.264,AAC)のいずれかです。

⚠ WMV の再生時、映像に対して音声は 1 ～ 2 フレーム後ろにずれることがあります。


映像を選択し、[OK]をクリックします。

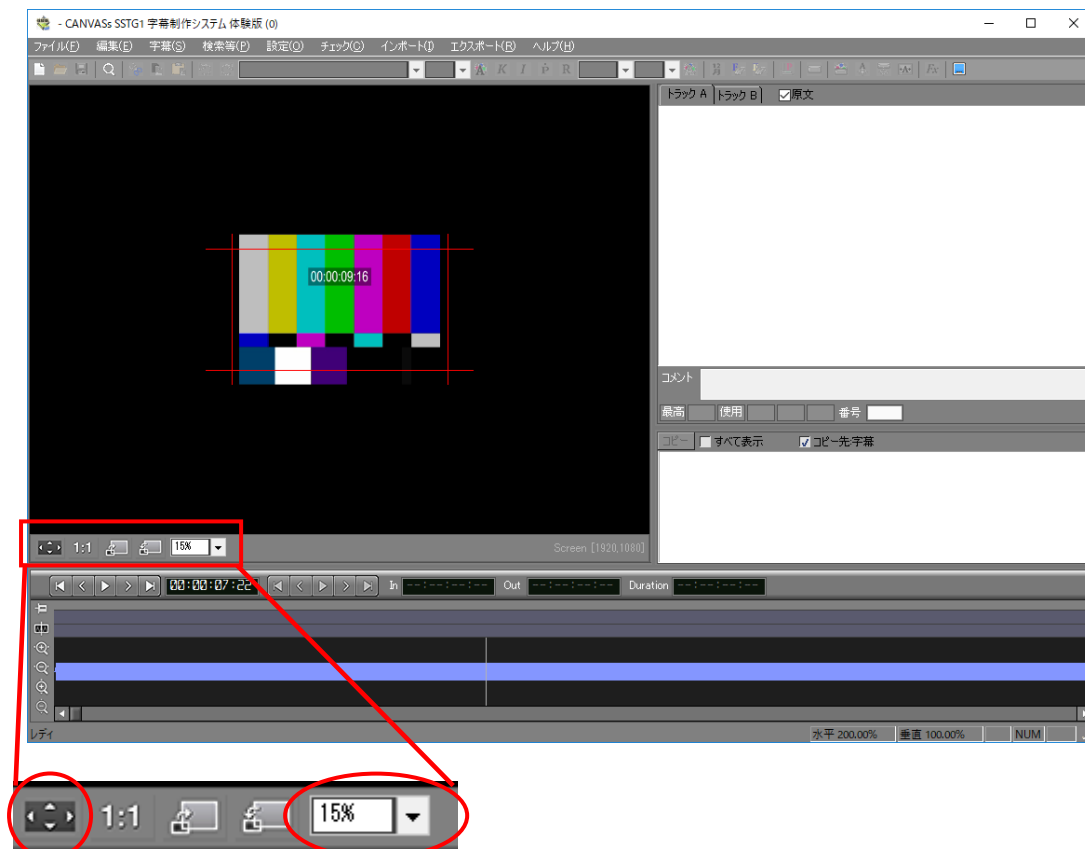


[波形データ生成中]が完了するとインターフェイスに映像と波形が表示されます。



映像ウィンドウに対して映像が大きすぎる/小さすぎる場合は、

映像ウィンドウの右下にある  ボタン（画面にフィット）をクリックするか、表示倍率を変更してください。



3. タイムコードの調整

最初に映像のタイムコードとソフトウェアのタイムコードを同期させます。

[設定]→[映像とタイムコードの同期]→[基本設定] を選択します。

下記の点に注意して音声波形上にカーソルを合わせます。

⚠ 作品本編に入ったところで同期を行って下さい。(黒み・カラーバー・クレジットなどは避けて下さい。)

⚠ 映像の最初から本編が始まっている場合は、数秒程度進めたところで同期を行って下さい。

設定画面が出たら映像上のタイムコードを入力し、フレームタイプを選択して[OK]をクリックして下さい。

The image consists of two screenshots of the CANVASs SSG1 software interface, illustrating the steps to synchronize video and software timecodes.

Top Screenshot: Time Code Basic Settings Dialog Box

- ① 音声波形上にカーソルを合わせる** (Align cursor on audio waveform): A red circle highlights the cursor on the audio waveform in the timeline.
- ② 「00:17:18:27」と入力** (Enter '00:17:18:27'): A red circle highlights the timecode input field in the video preview window, showing 'TCF 00:17:18:27'.
- ③ フレームタイプを選択** (Select frame type): A red circle highlights the frame type selection options in the dialog box: 30Fr DF (selected), 30Fr NDF, 25Fr, 24Fr, and 24P.
- ④ OK**: A red circle highlights the OK button in the dialog box.

Bottom Screenshot: Synchronization Confirmation

- 映像のタイムコードとソフトウェアのタイムコードが同期していることを確認** (Confirm synchronization): A red circle highlights the timecode '00:17:18:27' in the video preview window, and another red circle highlights the same timecode in the software timeline.
- ⚠ 必ず映像の最後までタイムコードが同期しているか確認してください。** (⚠ Please confirm that the timecode is synchronized to the end of the video.): A red circle highlights the end of the video timeline.

① 一度設定したプロジェクトファイルのフレームタイプを変更したい時は・・・

[設定]→[映像とタイムコードの同期]→[フレームタイプ変換]

→変換したいフレームタイプを選択し[OK]をクリックして下さい。

<使用する映像のフレームの種類>

3 0 Fr D FNTSC ドロップフレーム (29.97fps 主にテレビ放送用映像)

3 0 Fr N D FNTSC ノンドロップフレーム (29.97fps DVD、ビデオ用映像)

2 5 FrPAL (25fps フランスを除くヨーロッパ、中国、オーストラリアなどで使用される方式)

2 4 Fr29.97fps のワーク映像に 1 秒あたり 24 フレームの TC が焼き付いている素材でスポッティング作業を行う場合。2-3 プルダウンされている。(主にデジタルシネマや映画素材などで使用)

2 4 P1 秒あたり 24 フレームのワーク映像を使用してスポッティング作業を行う場合。

① 24.00fps のワーク映像 (Blu-ray の作業などで使用)

② 23.98fps のワーク映像

※ **FPS** - Frame Per Second の略。動画のなめらかさを表す指標。1 秒間に何枚の画像を表示しているかを示す。

4. 画面調整

使用する映像ファイルの画角タイプと完成させる字幕の解像度を設定します。


[設定]→[画面調整] を選択します。

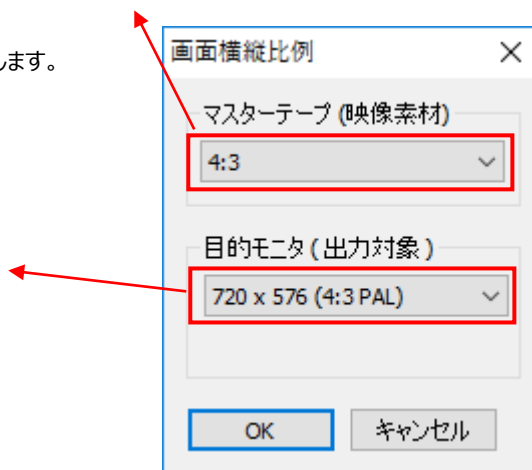
・[マスターテープ (映像素材)] : 使用する映像ファイルの画角タイプを選択します。

マスターテープ (映像素材)	
4:3	
4:3 (LetterBox)	ハイビジョンの映像 (16:9) や映画 (シネマスコープ) を 4:3 の画面に表示して、上下に黒い帯が入った状態をいいます。
4:3 (Squeeze)	16:9 のワイド画面を 4:3 の画面に表示した時、レターボックスの様に上下の黒い帯を出さずに、左右を圧縮して表示する手法です。
4:3 (SideBlack)	4:3 の映像を左右に黒帯をつけて 16:9 とした状態をいいます。
16:9	

・[目的モニタ (出力対象)] : 完成させる解像度を選択します。

目的モニタ (出力対象)
720×480 (4:3 NTSC)
720×480 (16:9 NTSC)
720×576 (4:3 PAL)
1280×720 (16:9 HD)
1920×1080 (16:9 FullHD)
ユーザ定義サイズ

① 映像ウィンドウ内に映像が収まっていない場合、左下の「画面にフィット」 をクリックしてください。

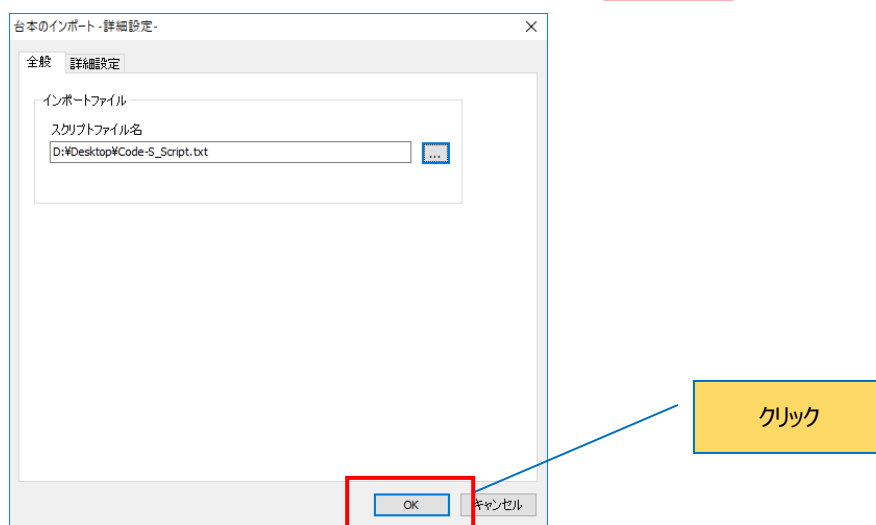
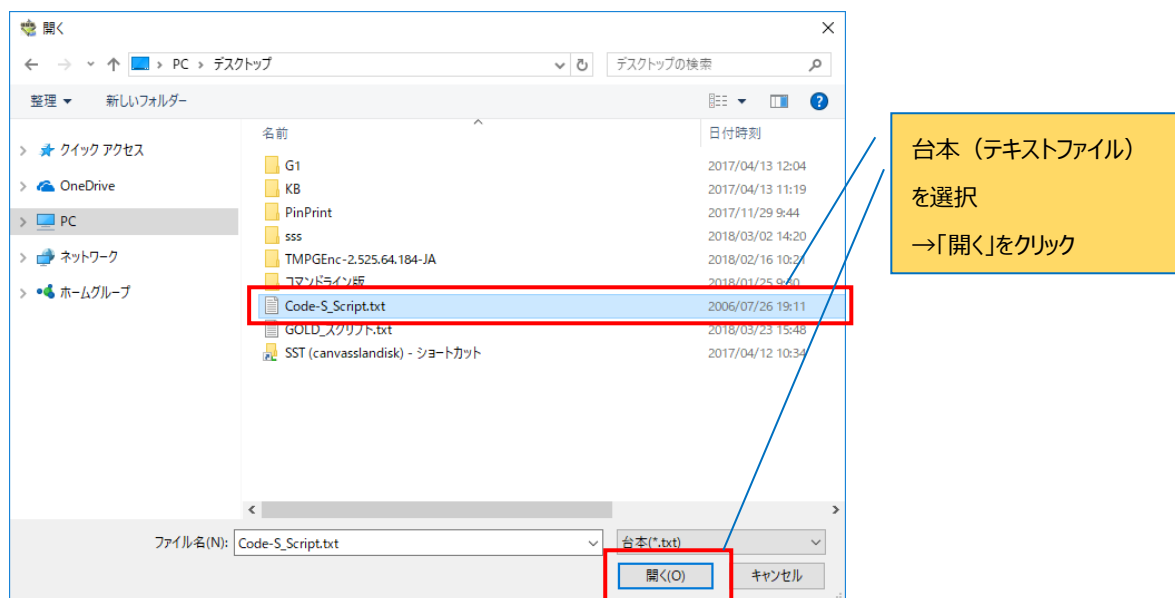
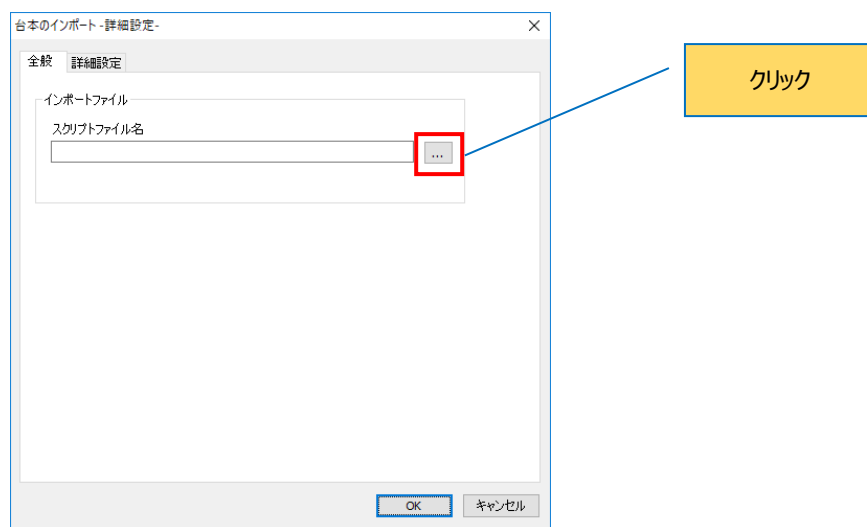


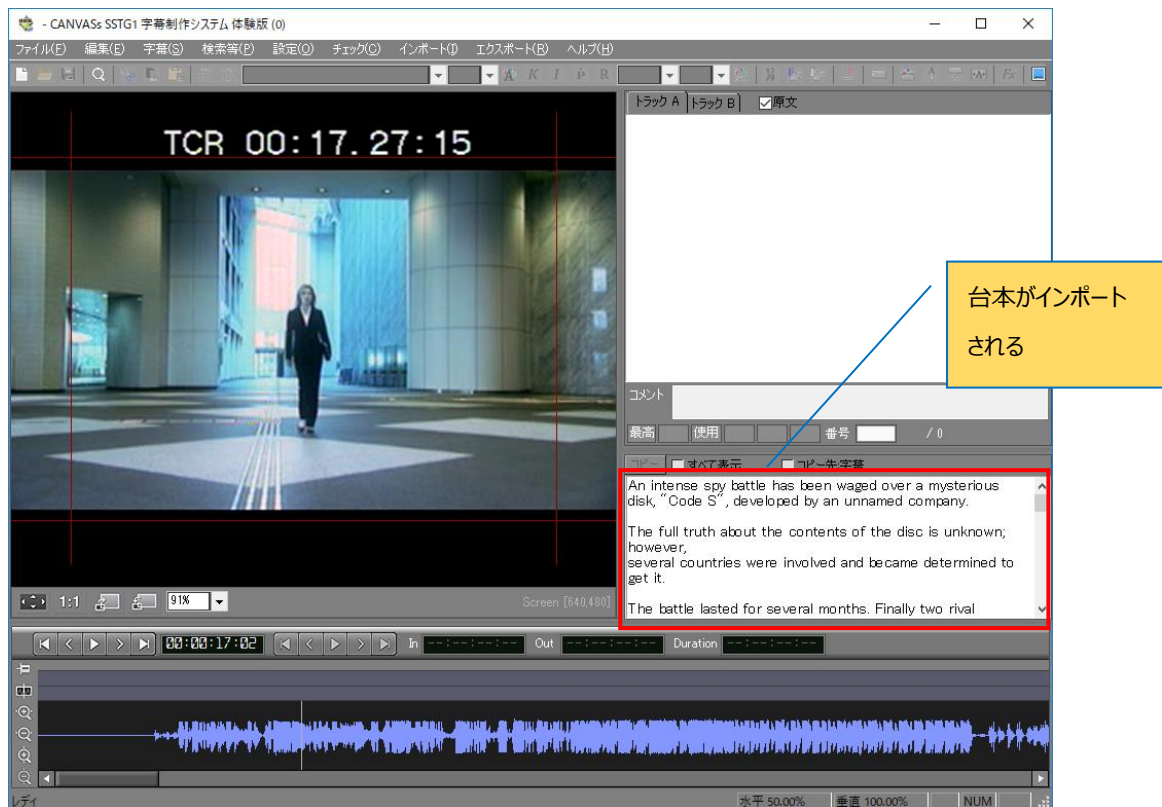
5. 台本のインポート

台本（スクリプト）がある場合、台本ウィンドウにインポートすることができます。

インポートできるフォーマットはテキストファイル（.txt）です。


[インポート]→[台本]を選択します。




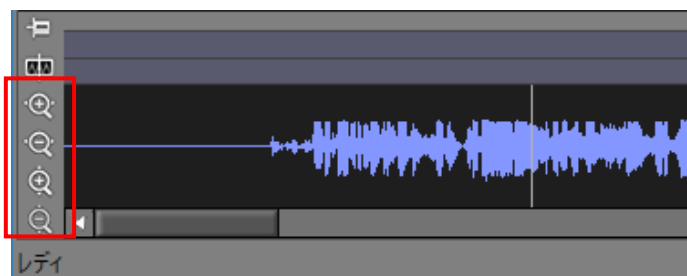


- ⚠ 英語以外の台本をインポートする場合は[詳細設定]のエンコードの種類のプルダウンから[UTF8]を選択してインポートしてください。
- ⚠ テキストファイル以外の形式の台本(例: Word、Excel など)の場合はメモ帳などのテキストエディタに台本の中身をコピー&ペーストして保存し、テキストファイル形式の台本データを作成してください。

6. 音声波形の調整

* 横幅の拡大縮小 音声波形ウィンドウ左側の  で調整できます。

* 上下の拡大縮小 音声波形ウィンドウ左側の  で調整できます。



7. 映像の再生

音声波形上にカーソルを置き、映像の再生・コマ送り・巻き戻しなどを行います。

- * 再生、停止・・・スペースキー or F11キー or →キーを押し続けます。
- * コマ送り・・・→キーを1回ずつ押します。
- * リピート再生・・・スペースキー(カーソルがスポッティング内にある場合) or F12キー
- * 逆再生(巻き戻し)・・・←キーを押し続けます。 or ←キーを1回ずつ押すごとに1フレーム戻ります。
- * 早送り(2倍速再生)・・・再生中に↑キーを押すと早送り 再度↑キーを押すと通常再生に戻る
- * 1/2のスロー再生・・・再生中に↓キーを押すとスロー再生 再度↓キーを押すと通常再生に戻る



8. スポットイングの取り方

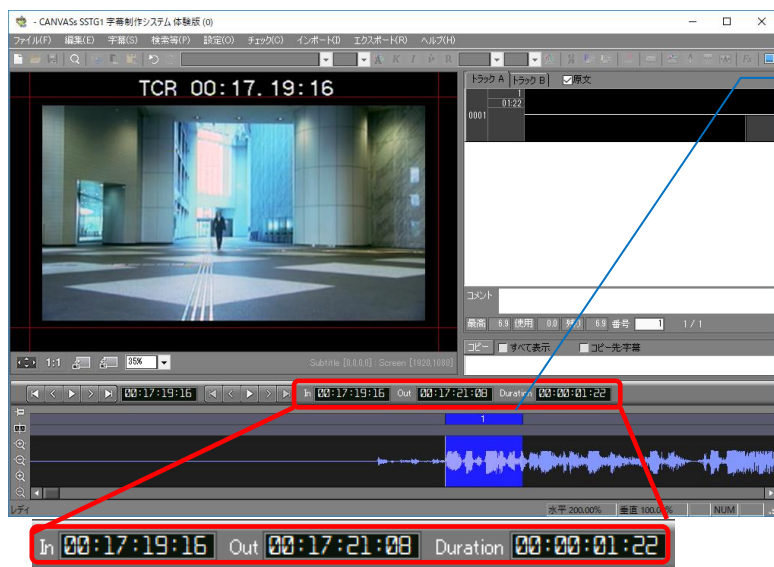
字幕を表示するタイミングを決めることを「スポットイング」といいます。

* マウスを使用する場合・・・イン点(字幕の最初のフレーム)からアウト点(字幕が消えた最初のフレーム)の波形部をドラッグします。

* キーボードを使用する場合・・・

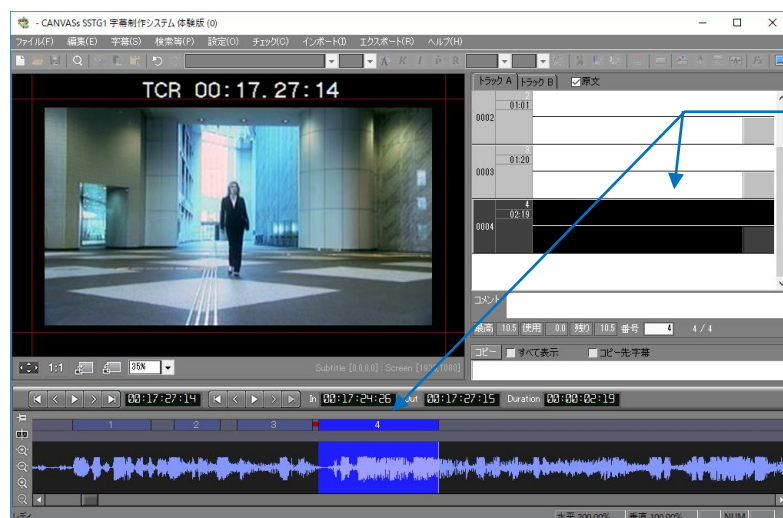
In 点を決めて、**Shift** キー + **→** キー を押します。(再生方向にスポットイングができます)

Out 点を決めて、**Shift** キー + **←** キー を押します。(逆再生方向にスポットイングができます)



1. 音声波形をクリックして、音声を聞きながら、話し始めから話し終わりまでをドラッグします。
または、Shift キーを押しながらキーボード上の左右矢印キーを使って指定することもできます。

インジケータにインタイム・アウトタイム・デュレーションが表示されます。



2. 1の操作を繰り返し行くと、順番に字幕番号が振られると同時に、テキストウィンドウにボックスができます。

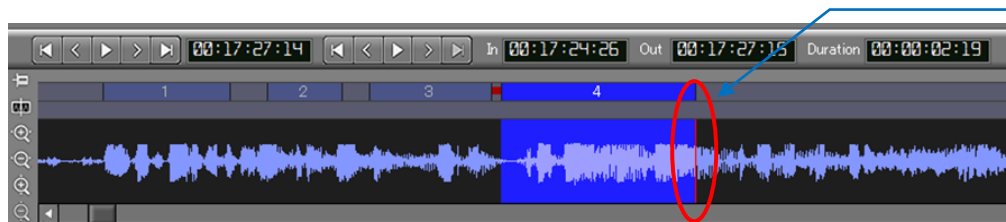
9. スポットティングの微調整

作成したスポットティングの in 点/out 点の位置を調整します。もしくは長さを変えずに移動します。

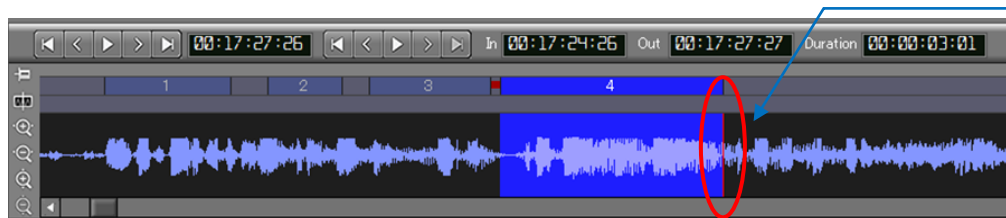
※スポットティングをアクティブにした状態で行って下さい。

* In点、Out点を調整する場合

- ・ Home キー……カーソルが IN 点に移動
- ・ End キー……カーソルがそのスポットティングの最後のフレーム（Out 点 TC-1）に移動
⇒ Shift キーを押しながら → キー または ← キーを押します。（1 フレームずつ調整）
- ・ [インポイントインジケータ] [アウトポイントインジケータ] [デュレーションインジケータ]へ直接タイムコードを入力し Enter キー

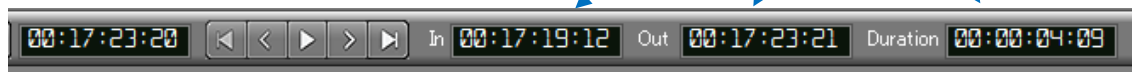


1. スポットティングをアクティブにした状態で End キーを押すと、そのスポットティングの out 点にカーソルが移動します。



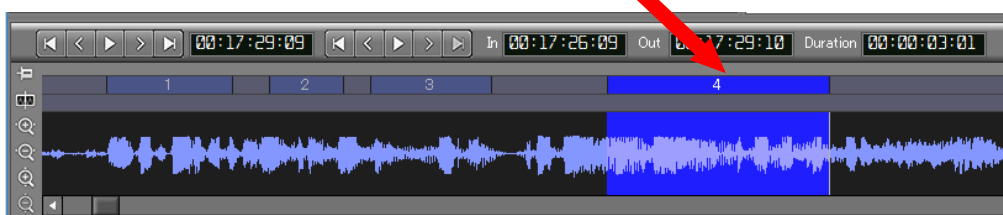
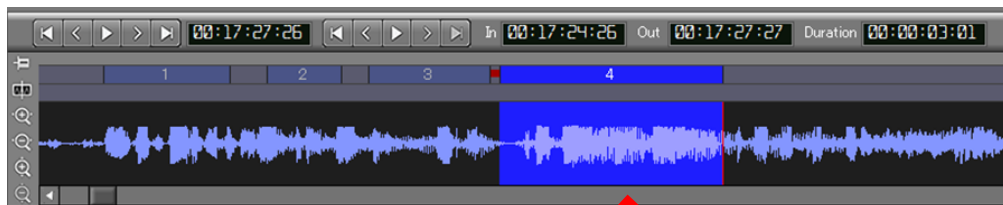
2. Shift キーを押しながら → キーまたは ← キーを押して、位置を調整します。

もしくは、[インポイントインジケータ] [アウトポイントインジケータ]
[デュレーションインジケータ]へ直接タイムコードを入力し Enter



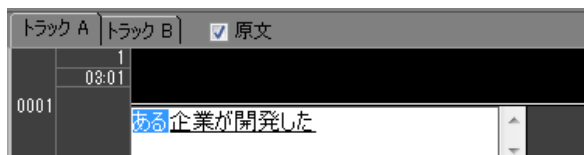
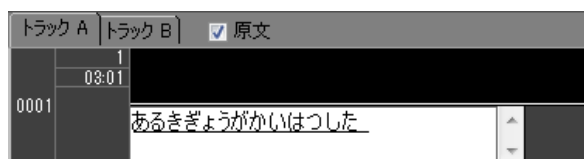
* 1 つのスポットティングのデュレーションを変えずに移動させる場合

- ・ マウスカーソルを目的のスポットティング上に置き、Ctrl キーを押して ⇄ に変わったらマウスを左右に動かします。



10. 字幕の入力

字幕 BOX に字幕を入力します。



字幕ウィンドウに文字を入力し、スペースキーで変換します。

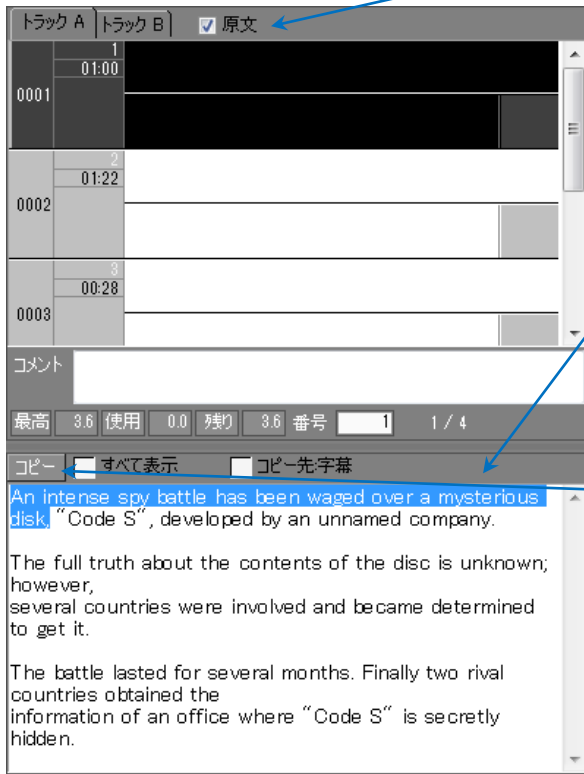


Enter キーを押すとビデオウィンドウに反映されます。

11. 原文の貼り付け

原文ウィンドウには原文を入力することが可能です。

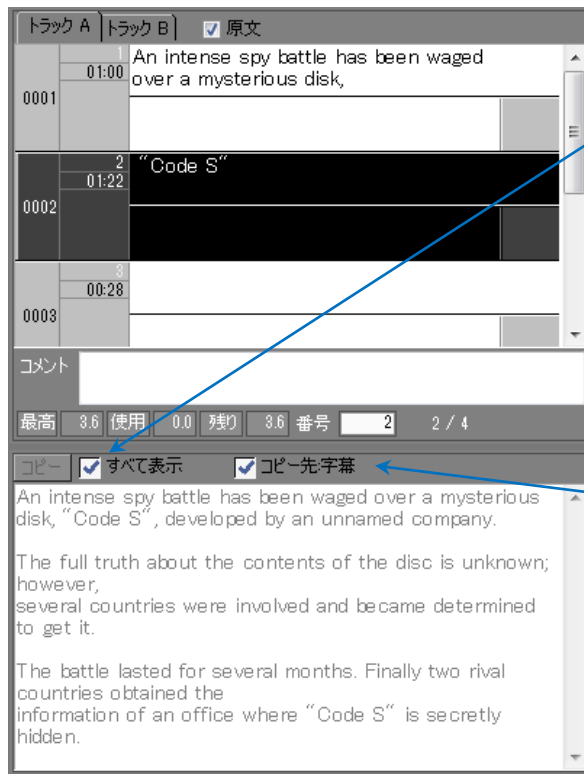
原文ウィンドウの内容は、映像ウィンドウ上には表示されません。



1. [原文]にチェックを入れると原文ウィンドウが表示されます。

2. 任意の原文ウィンドウにカーソルを合わせた後、[台本ウィンドウ]のコピーしたいテキストを選択します。

3. [コピー]ボタンをクリックすると、原文ウィンドウにテキストが貼り付けされます。
この場合、台本はウィンドウから切り取られます。



[すべて表示]にチェックを入れると、台本全体が再表示されます。
チェックを入れたまま、コピーすることも可能です。
この場合は、台本ウィンドウから切り取られません。

[コピー先：字幕]にチェックを入れると、字幕ウィンドウにテキストが貼り付けされます。

応用・便利機能

12. 次の字幕へ / 前の字幕へ


次の字幕へ移動 Page Down(PgDn) キー
前の字幕へ移動 Page Up(PgUp) キー

13. 文字のエフェクト


* ルビ …ルビを振りたい文字をドラッグして **R** ボタンをクリック→ふりがなを入力し[OK]

* イタリック …イタリックにしたい文字をドラッグして **I** ボタンをクリック

* 傍点 …傍点を付けたい文字をドラッグして **P** ボタンをクリック

 ルビは **R** ボタンから削除して下さい。

14. 現字幕の削除

 スポットイングと字幕 BOX が同時に消えます。入力した字幕データも消えます。

* 『音声波形ウィンドウ』または『字幕ウィンドウ』上で削除したい字幕を選択し、右クリック→[削除]

* 『音声波形ウィンドウ』または『字幕ウィンドウ』上で削除したい字幕を選択し、Delete キー

* 『字幕ウィンドウ』上で削除したい字幕を選択し、[字幕]→[字幕削除]→[現在位置の字幕を削除]

* 『音声波形ウィンドウ』上で、Ctrl キーを押しながら削除したいスポットイングを音声波形ウィンドウの枠から(上下に)出す

15. 複数の字幕削除

* [字幕]→[字幕削除]→[範囲指定]→削除したい範囲を指定して[OK]

・[a-b] a から b までの字幕

・[a-] a から最後まで字幕

・[-b] 最初から b までの字幕

* 字幕ウィンドウ上で Shift キーで字幕 BOX を範囲選択、または Ctrl キーで字幕 BOX を複数選択し、右クリック→[削除](または Delete キー)

* 音声波形ウィンドウ上で Shift キーでスポットイングを範囲選択、または Alt キーでスポットイングを複数選択し、右クリック→[削除](または Delete キー)

16. 字幕番号の振り直し

[字幕]→「字幕番号の振り直し」→「先頭から振り直す」or「指定番号から振り直す」を選択して開始番号を入力し[OK]


17. 1つの字幕番号だけを振り直す場合

字幕番号を変更したい『音声波形ウィンドウ』または『字幕ウィンドウ』上の字幕を右クリック→[字幕番号の設定]→

任意の番号又は文字を入力し[OK]

18. 字幕の分割・結合


* 字幕を分割する …波形上の分割したいポイントにカーソルを合わせ、右クリックして[分割]を選択します。

 分割した位置が、次の字幕の in 点になります。

字幕テキストは、前後同じものが表示されますので、それぞれ余分なテキストを削除します。


* 字幕を結合する …波形上で、結合したい2つの字幕のうち「前の」字幕をアクティブにし、右クリックして[後ろに存在する字幕と結合]を

選択します。前後の字幕が2行(前の字幕が1行目、後ろの字幕が2行目)になって表示されます。

 原文ウィンドウ内の原文も結合されます。

19. **トラック間の字幕コピー / 属性を含めてコピー**

- ・波形上でコピーしたいスポッティングを右クリック→[Aトラックにコピー] (または[Bトラックにコピー])
- ・波形上でコピーしたいスポッティングを右クリック→[属性を含めてコピー]→何も無い波形上で右クリック→[属性を含めてペースト]
- ・字幕ウィンドウでコピーしたい字幕 BOX を右クリック→[Aトラックにコピー] (または[Bトラックにコピー])
- ・字幕ウィンドウでコピーしたい字幕 BOX を右クリック→[属性を含めてコピー]→何も字幕が入っていない字幕 BOX を右クリック→[属性を含めてペースト]

 トラックを切り替えるには、テキストウィンドウ上の[トラック A][トラック B]のタブをクリックして下さい。

20. **UNDO・REDO 機能**

1,000 ステップ前までやり直しが可能です。



…元に戻す




…やり直し

21. **コメント機能**


* コメントの入力

コメントを付けたい字幕を選択し、コメント欄に入力します。

字幕ウィンドウに黄色いレターマーク  が表示されます。




コメント欄に入力した内容を見直し用リスト(Excel)にエクスポートすることができます。

* コメントの削除



コメント欄の文字を消すと、レターマーク  も消えます。

22. **検索・置換**

* 検索

- ・ [検索等]→[字幕検索]をクリック
- ・  +  キー
- ・ ツールバーの検索ボタン 


* 置換

- ・ [検索等]→[置換]をクリック
- ・  +  キー


23. **全画面表示**



ボタンをクリック…映像を全画面で表示します。

1. 映像再生中に[ビデオコントローラー]を隠すには、 ボタンをクリックします。

(画面上でマウスをクリックすると[ビデオコントローラー]が再表示されます)

2. 全画面表示を終了し、通常の SST G1 の画面に戻るには、[ビデオコントローラー]の右上にある  ボタンをクリックします。


24. **ガイドライン**



体験版では設定値の変更はできません。

a. 字幕

- * 文字数（秒） ……1 秒 4 文字で設定されています。このガイドラインにより、『最高文字数インジケータ』、および『残り文字数インジケータ』に表示される数値が決定されます。

このガイドラインの値を超えると、『字幕ウィンドウ』に赤い  マークが表示されます。



- * 文字数（行） ……1 行 16 文字で設定されています。

文字数がこのガイドラインの値を超えると、『字幕ウィンドウ』に黄色の  マークが表示されます。

b. タイムコード

* 字幕表示時間

[警告] ……「01:00」で設定されています。設定された長さ以下のスポッティングは赤く表示されます。

[強制] ……「00:15」で設定されています。設定された長さ以下のスポッティングは作成できません。

* 字幕の間隔

[警告] ……「00:10」で設定されています。

[強制] ……「00:00」で設定されています。

スポッティングとスポッティングの間隔が[警告]で設定された値よりも短いと赤いラインが表示されます。

[強制]で設定された値より間隔を短くすることはできません。

※その他、不明な機能がある場合はカンバスホームページに掲載されている NetSSTG1 マニュアルをご参照ください。